

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 6 月 20 日 (2019.6.20)

【公開番号】特開 2019-18026 (P2019-18026A)

【公開日】平成 31 年 2 月 7 日 (2019.2.7)

【年通号数】公開・登録公報 2019-005

【出願番号】特願 2018-168647 (P2018-168647)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 5 月 17 日 (2019.5.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

判定を行う判定手段と、

前記判定手段による判定にて所定の結果が得られたことに基づいて遊技者に特典を付与しうる特典付与手段と、

操作機会が付与される受付演出を発生させる受付演出発生手段と、

前記判定手段による判定に用いられる判定情報を記憶可能な保留記憶手段と、

前記保留記憶手段により記憶される判定情報に基づいて図柄変動を実行可能な図柄変動実行手段と

を備え、

前記受付演出には、

遊技者による操作があった場合、該操作があったことに基づいて操作後演出を発生させ、遊技者による操作が無くても遊技者による操作があったときと同じ操作後演出を実行する自動受付演出、及び

遊技者による操作があった場合、該操作があったことに基づいて操作後演出を発生させ、遊技者による操作が無い場合、遊技者による操作があったときと同じ操作後演出を実行しない非自動受付演出

が含まれており、

前記自動受付演出及び前記非自動受付演出はいずれも、前記保留記憶手段により記憶される判定情報の数が所定数よりも少ない状況にあるときに実行された図柄変動の方が、前記判定情報の数が所定数よりも多い状況にあるときに実行された図柄変動よりも発生する割合が高くなるが、

前記判定情報の数が所定数よりも少ない状況にあるときに実行された図柄変動において前記受付演出が発生したときにこれが前記自動受付演出ではなく前記非自動受付演出である割合は、前記判定情報の数が所定数よりも多い状況において前記受付演出が発生したときにこれが前記自動受付演出ではなく前記非自動受付演出である割合よりも高いようになっており、

さらに、

前記受付演出では、遊技者の操作対象を示唆する操作対象表示を表示可能であり、前記

自動受付演出で遊技者による操作が無く該操作があったときと同じ操作後演出が実行開始される場合、該操作後演出が実行開始される時点で、前記操作対象表示は非表示の状態にされておらず表示されており、

さらに、

前記受付演出が発生するよりも前に、該受付演出が発生することを示唆する前兆演出を実行可能であり、

前記前兆演出は、所定種別の前兆演出として実行される場合があり、該所定種別の前兆演出が実行されると、該所定種別の前兆演出に対応する受付演出として、前記自動受付演出が発生する場合と、前記非自動受付演出が発生する場合とがある

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

このような従来の遊技機では、遊技興趣の低下が懸念される。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

手段 1：判定を行う判定手段と、

前記判定手段による判定にて所定の結果が得られたことに基づいて遊技者に特典を付与しうる特典付与手段と、

操作機会が付与される受付演出を発生させる受付演出発生手段と、

前記判定手段による判定に用いられる判定情報を記憶可能な保留記憶手段と、

前記保留記憶手段により記憶される判定情報に基づいて図柄変動を実行可能な図柄変動実行手段と

を備え、

前記受付演出には、

遊技者による操作があった場合、該操作があったことに基づいて操作後演出を発生させ、遊技者による操作が無くても遊技者による操作があったときと同じ操作後演出を実行する自動受付演出、及び

遊技者による操作があった場合、該操作があったことに基づいて操作後演出を発生させ、遊技者による操作が無い場合、遊技者による操作があったときと同じ操作後演出を実行しない非自動受付演出

が含まれており、

前記自動受付演出及び前記非自動受付演出はいずれも、前記保留記憶手段により記憶される判定情報の数が所定数よりも少ない状況にあるときに実行された図柄変動の方が、前記判定情報の数が所定数よりも多い状況にあるときに実行された図柄変動よりも発生する割合が高くなるが、

前記判定情報の数が所定数よりも少ない状況にあるときに実行された図柄変動において前記受付演出が発生したときにこれが前記自動受付演出ではなく前記非自動受付演出である割合は、前記判定情報の数が所定数よりも多い状況において前記受付演出が発生したときにこれが前記自動受付演出ではなく前記非自動受付演出である割合よりも高いようになっており、

さらに、

前記受付演出では、遊技者の操作対象を示唆する操作対象表示を表示可能であり、前記

自動受付演出で遊技者による操作が無く該操作があったときと同じ操作後演出が実行開始される場合、該操作後演出が実行開始される時点で、前記操作対象表示は非表示の状態にされておらず表示されており、

さらに、

前記受付演出が発生するよりも前に、該受付演出が発生することを示唆する前兆演出を実行可能であり、

前記前兆演出は、所定種別の前兆演出として実行される場合があり、該所定種別の前兆演出が実行されると、該所定種別の前兆演出に対応する受付演出として、前記自動受付演出が発生する場合と、前記非自動受付演出が発生する場合とがある

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】